

改訂版 編集の序

糖尿病治療薬は新規のものが次々と上梓され、最新の治療に関する話題が絶えることがありません。しばしば自己の状況が基礎的、臨床的医学情報の渦巻く大河に翻弄され、漂う小舟のように感じられる先生も多いでしょう。

臨床医にとって狭い専門領域の分野に限っても新しい情報を的確に吟味して日々の診療に役立てることは次第に困難になっています。糖尿病などの生活習慣病の診療はすべての医師がある程度の割合でかかわることが多いものです。そこで吟味されたエッセンスを伝える書物を企画いたしました。

このハンドブックは特に糖尿病診療を専門としていない医師や、まだ研修期間にある若手医師あるいは糖尿病治療薬に関する臨床的知識を深めたいコメディカルスタッフを意識して編集されています。

初版の発行後、数年を経て新薬も数種類登場したこと、グリコヘモグロビン (HbA1c) 値の国際標準値の使用が始まることなどを考慮して改訂版を起こすこととなりました。初版に対し編集部に寄せられた意見を中心に症例提示なども含めて内容の一部を刷新いたしました。

本書の監修は我が国の糖尿病学研究と臨床をリードされている順天堂大学大学院医学研究科・スポーツロジセンター 河盛隆造教授と代謝内分泌学講座 綿田裕孝教授にお願いすることができました。同教室の諸先生にも執筆の多くの部分を担当いただきました。また全国の糖尿病臨床の一線で活躍されている先生方にもご執筆いただくことができました。深く御礼申し上げます。編者のスローペースのため改訂版のお話を戴いてから原稿依頼へ至るまで多大な時間を要し、羊土社編集部の皆様にご迷惑をおかけいたしました。

この本が多くの方の医療関係者の皆様のお手元に届き、患者さんにより良い医療を提供する一助になればと心から願っております。

2012年1月

日吉 徹